

出張報告

報告日

令和3年12月15日

会派名	公明党
報告者氏名	若井 恵子、真貝 維義
種別	■調査研究 (□行政視察) □研修会 □要請・陳情 □各種会議
用務	六ヶ所村原子燃料サイクル施設
日時	11月24日(水) 14:00 ~ 11月24日(水) 17:00
場所 (会場)	青森県上北郡六ヶ所村
調査項目等	原子炉核燃料の課題調査
概要	<p>日本原燃株式会社 原子燃料サイクル施設視察</p> <ul style="list-style-type: none">・六ヶ所原燃PRセンターにて原子燃料サイクルについての説明・ウラン濃縮工場視察・低レベル放射性廃棄物埋没センター視察・高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター視察・使用済核燃料受け入れ貯蔵施設視察



所 感 等	<p>「真貝維義」</p> <p>高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センターが操業した直後より何回か、原子燃料サイクル施設を視察しているが、新規制基準への適合性審査に合わせた工事も進んでいることが確認できた。資源の乏しい我が国が環境と経済成長の両立を実現するために「S+3E」を基本方針として原子力発電の利用を推進していくことは不可欠であり、核燃料サイクルの確立は極めて重要な課題であると考えます。2050カーボンニュートラルに向けて二酸化炭素を排出しない原子力発電が世界的に再評価されている。原油やLNGの高騰が喫緊の課題であるが、再生可能エネルギーだけでは経済活動や国民生活の重要基盤であるエネルギーの安定供給には懸念がある。エネルギー基本計画の実現に向け、原子力発電の理解促進活動を国が前面に立つて行うべきだと再認識をした。</p> <p>「若井恵子」</p> <p>今まで六ヶ所村原子燃料サイクル施設を視察させていただいたが、着実に前へ進んでいることを確認できた。新規制基準に則って重大事故につながる要因への対策として地震対策強化や竜巻対策に防護ネットを設置、主排気筒の根元に防護板が設置される建設など安全対策の追加工事に重層的に取り組んでいる。また重大事故対策として電源の多重化や多様化を進めている。事業者として原子燃料サイクルを進めなければ日本のエネルギーの先が見えないと事業を進めている覚悟を感じる。国としても原子燃料サイクル施策にしっかりと取り組むべきと感じた。</p>
-------	--